

設問番号	(1)
解答又は 解答例	下記の出題意図を踏まえ、以下の点について記述できているかを評価基準とする。 • CSV はどのように定義される概念なのか。 • ポーターが CSV を提唱した背景には、従来の CSR に対するどのような問題意識があったのか。 • 理論的な用語と具体例を関連づけながら、自身の言葉で説明できているか。
出題の意図	マイケル・ポーターの CSV に関する問題である。CSV は学部でも取り上げられる概念であり、比較的広く知られているが、本問では、単に CSV の定義や考え方を理解しているだけでなく、ポーターが CSV という新しい概念を提唱した理論的背景、すなわち従来の CSR 論の問題点を理解できているかを問うている。さらに、抽象的な理解にとどまらず、具体的な事例と結びつけて説明できているかも評価の対象となる。

設問番号	(2)
解答又は 解答例	下記の出題意図を踏まえ、以下の点について記述できているかを評価基準とする。 • ライシュは資本主義の構造的な変化をどのように捉えているか。 • ライシュは、資本主義の構造変化が企業の CSR 実践にどのように影響したと考えているのか。
出題の意図	ロバート・B・ライシュの CSR 批判に関する問題である。ライシュの議論はポーターの CSV 論より難易度が高く、博士後期課程に進学できる水準にあるかを確認することを意図している。ライシュは、資本主義の構造変化によって、CSR が社会全体の利益を実現するための取り組みというよりも、市場における競争上の要請に応えるための取り組みに変質したという問題意識を持っている。本問では、そのロジックを理解し、自分の言葉で説明できているかを問うている。